

グループ紹介

竜北お茶の会



「竜北お茶の会」

連絡先 古閑景子

氷川町網道二九一

〇九六五―五二―七二六四

時折り小雨の降る中、11月2日、「氷川町文化祭」にて呈茶席を担当させていただきました。

一碗の茶を差し上げるのに、準備、後始末と多くの仕事や気働きがありますが、お客様の「おいしかった」のひと言に、感謝の思いが伝わり嬉しく思いました。

茶は、日本文化の集大成と言われていますが、衣食住、文字（書、文学）、絵画、大自然の全てが、客を迎える準備も茶席の中に込められているのです。茶の点前は、その一部に過ぎませんが、茶の道を学び、体得することで茶の奥深さがわかると思います。

現在「竜北お茶の会」会員は、二十代から米寿の方まで幅広い年齢層で助け合い励まし合って、和氣譚々の中で稽古をしています。新しく若い指導者もできました。稽古は、文化センター和室や、古閑宅で行っています。皆様ののご参加をお待ちしています。

表紙のひょうじ

爽やかな秋日和に恵まれた10月26日、松浜軒・白菊の間に於いて、八代合同茶会に参加しました。

煎茶の歴史は古く、文人墨客の茶として受け継がれてきました。その昔、佐賀出身の売茶翁が、茶を煮て、

担い売り歩いた話は有名です。

明治になり、家元制度の確立と共に、煎茶道として盛んになりました。その中で皇風煎茶禮式は、特に礼儀作法を重んじ、清風の茶を目指しています。

どうか一人でも多くの方が茶を楽しみ、その心を味わって下さったら幸いです。

皇風煎茶禮式
(竜北お茶の会)

古閑光景



編集後記

今回の議会だより「清流ひかわ」の記事で読者のみなさんが関心を持って読まれた記事は、どの記事でしたでしょうか？

現在の議会は、議案を各常任委員会に付託して審議を行い、本会議で委員長報告を受け、委員会決定に賛成するか、反対するか採決方法がとられています。

常任委員会の前に、本会議において執行部からの提案理由説明と詳細説明があり、それに対し質疑応答を行いますので、各常任委員会では、より詳細な部分を審議することになります。

よって、各常任委員会の報告が、少なめになっていることをご承知いただければ幸いです。

今回の記事では、氷川町議会議員（全体）研修を取り上げ、各議員からのレポートを抜粋しています。

議会広報調査特別委員会

委員長 松田達之

副委員長 河口涼一

委員 江崎 悟

委員 長尾憲一郎